

平成 27 年度事業報告書

公益財団法人 千葉市産業振興財団

第 1 事業の概要

1 中小企業の経営革新並びに新事業創出の支援に関する事業

当財団は、中小企業支援法に基づき中小企業支援の「指定法人」として千葉市から指定を受けるとともに、中小企業新事業活動促進法に基づき新事業支援体制の「中核的支援機関」として千葉市から認定を受けており、引き続き各支援機関と連携を図りながら、設立の趣旨に基づき、中小企業の経営革新並びに新事業創出の各種支援事業を展開した。

「公益目的事業」としては、【公 1】経営・技術支援に関する事業、【公 2】創業支援・交流促進に関する事業、【公 3】販路拡大に関する事業、【公 4】産業情報提供、人材育成、地域産業資源の発掘・調査及び資金融資に関する事業の 4 事業を実施した。

【公 1】経営・技術支援に関する事業は、コーディネーター・専門相談員等による総合的な相談・助言のほか、専門家を派遣し経営・技術面の課題解決を図るなど、中小企業の経営革新の支援を行った。また、商店街に専門のアドバイザーを派遣し、商店街の活性化及び経営課題について、診断・助言等を行った。

【公 2】創業支援・交流促進に関する事業のうち、創業支援事業については、千葉市ビジネス支援センター本館及び富士見分館のインキュベーション施設の運営を通して、創業者に対する総合的支援を行った。また、これから起業する方や創業間もない起業家が、専門家の指導・助言を受けながら、互いに連携・協力することができる創業支援施設である千葉市ビジネス支援センター中央分館(CHIBA-LAB0)の運営を行った。

一方、交流促進事業については、企業間連携による技術交流や新技術の創出を図る「オープンイノベーション支援事業」、企業の課題解決と企業間及び当財団との連携強化を図るため「情報交流事業」を実施するなど、企業と大学関係者及び企業間の連携交流を促進し、研究開発から事業化に向けた支援を行った。また、第 14 回ベンチャー・カップ CHIBA を開催し、一般及び学生の 2 部門を設け、優秀なビジネスプランについて発表の場を提供するとともに、事業化に向けた支援を行った。

【公 3】販路拡大に関する事業は、優秀な技術や独創的なアイデアを活用した製品・サービス等について、販路拡大につなげるため、見本市等への出展を支援するとともに、首都圏全体の産業国際競争力の強化に向けて、九都県市連携による商談会を開催した。また、海外企業との連携による経営基盤・技術力の強化、海外進出、ビジネスマッチング等の各種支援を行うため、「海外事業展開支援事業」を実施した。

【公 4】産業情報提供、人材育成、地域産業資源の発掘・調査及び資金融資に関する事業は、各種支援制度・事業等の産業情報をホームページ・メールマガジン・SNS を通して迅速に提供するとともに、人材育成事業においては、次世代の産業界を担う人材を育成するため近隣の大学との連携を進めたほか 中小企業の経営革新及び市内での創業を目指す人材を育成するための各種研修や関係支援機関との連携によるセミナーを開催した。

「収益事業」としては、【収 1】産業振興施設の管理運営及び会議室の貸与等に関する事業を実施し、千葉市ビジネス支援センターの指定管理者として、施設を良好な状態に保つとともに、積極的な広報による利用促進に努めた。

「その他の事業(相互扶助等事業)」としては、【他 1】企業連合会等から受託する事業、【他 2】特許等取得支援に関する事業の 2 事業を実施した。

なお、これらの事業のうち、【公 1】経営・技術支援に関する事業、【公 3】販路拡大に関する事業、【他 2】特許等取得支援に関する事業の 3 事業については、千葉市が、国の「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」を受け、「住民生活等緊急支援のための交付金(地方創生先行型)」を活用し、中小・小規模事業者の経営課題に対し、個々のニーズに合わせた支援を実施することとなったことから、当財団では、行政機能を補完・代替・支援するという本来の役割を果すべく、同市と連携し、これら 3 事業の拡充を図った。

2 中小企業勤労者等に対する福祉事業

市内の中小企業の従業員と事業主の福祉の向上を図るため、充実した福利厚生サービスを提供するとともに、千葉県勤労者福祉サービスセンター(以下「サービスセンター」という。)への加入促進に努めた。

また、会員アンケート調査結果を踏まえサービス等の見直し、拡充を図った。

平成 27 年度においては会員 5,300 人を目標に、新規開業者や未勧誘事業所等に対し、勧誘ダイレクトメールを送付するとともに、協力団体等の協力を得て、積極的に加入促進活動を展開した結果、目標とする会員数を上回る 5,307 人を達成することができた。

「公益目的事業」としては、【公 5】生活安定に関する事業、【公 6】健康維持増進に関する事業、【公 7】自己啓発・余暇活動に関する事業、【公 8】福祉情報提供・普及啓発に関する事業の 4 事業を実施した。

【公 5】生活安定に関する事業は、中小企業勤労者の在職中の生活安定を目的とした融資のあっ旋を行うとともに、従業員及び経営者を対象にした退職金制度等の加入あっ旋を行った。また、無料で参加できるライフプランに関するセミナーを開催した。

【公 6】健康維持増進に関する事業は、会員の健康の維持増進を図るため、人間ドックやインフルエンザ予防接種の助成、健康づくりに役立つ教室等を開催した。また、アンケート結果を踏まえ、割引あっ旋販売を行う温浴施設利用券の対象施設を増やした。

【公 7】自己啓発・余暇活動に関する事業は、会員の自己啓発・余暇活動の充実を図るため、宿泊・施設利用の助成やチケットのあっ旋販売を行うとともに、一般の方も参加可能な自主事業を実施した。また、アンケート結果を踏まえ、新たにホームページ限定でのチケット等のあっ旋販売を行った。さらに、チケット郵送料の助成サービスの拡充を図った。

【公 8】福祉情報提供・普及啓発に関する事業は、提供しているサービス等の内容や手続き等の周知を図るため、「ガイドブック」及び「広報誌ゆるり」を通して、よりわかりやすい情報提供に努めるとともに、会員事業所の事務担当者に対し、マニュアルを送付した。また、サービス等の内容を広く紹介するため、引き続き「広報誌ゆるり」を会員のみならず公共施設等で配布した。なお、新たにホームページに会員専用ページを設け、会員に対しての情報提供の拡充を図るとともに、会員アンケートを実施した。

「その他の事業(相互扶助等事業)」としては、【他 3】共済給付に関する事業は、一部の給付項目を除き、自治体提携慶弔共済保険契約を締結して実施し、会員の福祉向上を目的とした慶弔給付を行った。

第2 事業内容

1 公益目的事業

(1) 【公1】経営・技術支援に関する事業

ア 相談事業【指定管理事業】

経営課題や法律問題について、コーディネーター・専門相談員・弁護士等による相談・助言を行った。

(単位：件)

相談件数	内 訳	
	主な目的別	主な内容別
1,645	□ 創業 684	□ マーケティング 234
	□ 経営革新 392	□ 資金 228
	□ 商店街 308	□ 経営全般 203

イ 専門家派遣事業【補助事業】

経営・技術課題について、財団に登録された各分野の専門家を派遣し、課題解決のためのアドバイスや技術支援などを行った。

派遣件数	派遣日数
7 件	64 日

ウ 認証取得支援事業【補助事業】

ISO、エコアクション21の各種認証規格の導入に必要な社内体制の整備や諸問題に対し、財団に登録された専門家を派遣し、円滑な認証取得を支援した。

派遣件数	派遣日数
3 件	39 日

エ 商業アドバイザー派遣事業【補助事業】

商店街の活性化を図るため、専門知識を有するアドバイザーを現地に派遣し、商店街が実施する事業に対して診断・助言等を行った。

区 分	派遣件数	派遣日数
商店街	7 件	42 日
個 店	0 件	0 日

(2) 【公2】創業支援・交流促進に関する事業

ア 創業支援事業

(ア) インキュベート支援事業【指定管理事業】

創業前における事業計画のブラッシュアップや創業後のフォロー等を行うほか、インキュベート施設入居者をはじめとした創業者に対する支援を行った。

a 店舗型ビジネスインキュベート施設入居者向けアドバイザー派遣

施設入居者に対し、定期的に専門家を派遣し、店舗販売に関する改善すべき事項について実地指導を行った。

実施期間	実施回数
6～3月	10回

b 店舗型ビジネスインキュベート施設入居者向けセミナー

施設入居者に対し、施設卒業後の安定した事業経営を支援するため、店舗経営者として必要な経営知識の習得を目的としたセミナーを開催した。

開催期間	開催回数
6～11月	6回

(イ) インキュベート室管理運営事業【指定管理事業】

(平成28年3月末現在)

名称			入居可能室数(A)	使用許可済室数(B)	空室(A-B)	使用許可率(B/A)	
千葉県ビジネス支援センター	本館	ビジネスインキュベート室	14室	9室	5室	64.3%	
		プレインキュベート室(ブース)	4室	1室	3室	25.0%	
	富士見分館	ビジネスインキュベート室	8室	4室	4室	50.0%	
		店舗型ビジネスインキュベート室	6室	3室	3室	50.0%	
	合計			32室	17室	15室	53.1%

(ウ) 創業支援施設管理運営事業【補助事業】

(平成28年3月末現在)

名称		概要
千葉県ビジネス支援センター中央分館	(愛称) CHIBA-LABO	<ul style="list-style-type: none"> □ 施設概要: オープンスペースの「ワーキングスペース」に30席、セミナールームを併設した「カフェスペース」に16席を設置 □ 利用会員: 53人 <ul style="list-style-type: none"> □ デイタイム 28人 □ ナイト&ホリデイ 25人

(エ) 医工連携創業支援事業【受託事業】

千葉大亥鼻イノベーションプラザのインキュベーションマネージャー配置に関する業務を受託した。

イ 交流促進事業【補助事業】

(ア) 連携交流事業

a ビジネス交流会事業

事業者・大学関係者等によるテーマごとのビジネス交流会を実施し、産学連携や産産連携による新事業創出へ取り組む契機とした。

[第1回]

実施日	会場	参加者数	内容
7月24日(金)	ビジネス支援センター会議室	86人	「3Dプリンターの活用」をテーマに、事例紹介を通して利活用を促進するほか、新たなものづくりビジネスの可能性について議論する場を設けた。

[第2回]

実施日	会場	参加者数	内容
11月30日(月)	ビジネス支援センター会議室	31人	千葉大学との共催により、千葉市発の医看工連携による新事業創出を図るため、企業が有する技術と千葉大学が有する医療・看護分野の現場ニーズとのビジネスマッチングの場を設けた。

[第3回]

実施日	会場	参加者数	内容
12月15日(火)	ビジネス支援センター会議室	62人	NPO法人ほのぼのの研究所との共催により、地域特性と健康維持に着目し「ヘルスツーリズム」をテーマとして、健康・予防×観光の融合による事業創造について議論する場を設けた。

[第4回]

実施日	会場	参加者数	内容
3月22日(火)	ビジネス支援センター会議室	24人	市内で活動する先輩起業家と起業準備者・起業間もない者との交流により「つながり」を強化し、スタートアップ期における経営マインドの向上並びに事業発展を図る場を設けた。

b オープンイノベーション支援事業

中小企業等におけるオープンイノベーションによる製品・サービス開発を促進するため、開放特許を活用したビジネスアイデアの創出において「学」との連携を図り、実用化に向けたマッチング支援に取り組んだ。

[富士通(株)の特許技術を活用したビジネスアイデア創出プロジェクト]

連携大学	内容
千葉大学 千葉工業大学	6月から約5か月間にわたり、富士通(株)の開放特許を活用した新商品アイデアを学生グループが考案・ビジネスモデル化し、その実用化に向けたマッチング支援に取り組んだ。 6月23日(火)、7月23日(木)：キックオフ会/各大学 その後、アイデアごとにブラッシュアップをし、学生らと企業訪問するなどして、マッチングを図った。

c 情報交流事業

千葉市及びその周辺地域に本社を置く中堅・中小企業の経営者又はそれに準ずる方を対象として、勉強会や情報交換会などの交流活動の場を設けることにより、企業の課題解決と企業間及び当財団との連携強化を図った。

[(公財)千葉市産業振興財団経営者会]

実施日	会場	参加者数	内容
10月28日(水)	ビジネス支援センター会議室	16人	メンバーによるプレゼンテーション、外部スピーカーによる講演、交流懇親会

(イ) 産学共同研究促進事業

産学共同研究による研究開発や実証試験、試作品の製作など、事業化に向けた支援を行った。

No.	事業者名 [業種]	連携大学等	研究テーマ
1	(株)アミンファーマ研究所 所在地：中央区亥鼻 [医療創薬製造業]	千葉科学大学薬学部	尿中脳梗塞・認知症バイオマーカーの高感度測定法の開発
2	(有)エムエスイー 所在地：稲毛区長沼原町 [環境関連製品・製造業]	千葉工業大学社会システム科学部	太陽光電池を利用し停電時にポンプ駆動が可能な電源装置の開発、商品化

(ウ) アイデアコンペ事業

第 14 回「ベンチャー・カップ CHIBA」を「一般部門」「学生部門」の 2 部門により実施した。

独創的な事業プランや技術を公募し、優秀なものにビジネスプラン発表の場を提供するとともに、マッチング支援及び必要に応じて事業化の支援を行った。

○ ビジネスプラン発表会 11 月 18 日(水)開催・参加者 127 人

[一般部門]

賞	企業名	発表ビジネスプラン
グランプリ	(株)BAN-ZI 所在地：花見川区三角町	環境配慮型の錆転換塗料「サビキラーPRO」の拡販・普及
準グランプリ 並びにソーシャルビジネス賞	アイスマップ(有) 所在地：八街市八街	触感による視覚障害者用腕時計の開発及び拡販
優 秀 賞	(株)協同工芸社 所在地：美浜区新港	立体筆文字等、精細な形状をした新たなデザインの発光看板の開発
	(株)ハニック・ホワイトラボ 所在地：中央区亥鼻	虫歯・歯周病及び口腔感染症の予防効果を伴った歯のコーティング剤の開発と商品化
	(株)MPS 所在地：花見川区三角町	熱フィラメント CVD 法による大面積気相合成ダイヤモンドの量産化と装置販売

[学生部門]

賞	企業名	発表ビジネスプラン
グランプリ	田中 颯(千葉大学医学部)	ゲノム価値創造データベースの開発

(3) 【公3】販路拡大に関する事業

ア 新規市場開拓支援事業【補助事業】

優秀な技術や独創的なアイデアを活用した製品・サービス等の情報について、新たな販路拡大につなげるため、希望する見本市等への出展を支援した。

また、インキュベート施設の入居企業を対象とした販路開拓支援を行った。

支援件数
13件

イ 合同商談会事業【補助事業】

首都圏全体の産業国際競争力の強化に向けて、九都県市連携による商談会を実施した。また、優れた製品・サービスを持つ中小企業者等の取引拡大を推進するため、大手企業バイヤーとの個別商談会を実施した。

[第8回九都県市合同商談会]

実施日	会場	参加企業数
2月3日(水)	パシフィコ横浜	343社

ウ 海外事業展開支援事業【補助事業】

優れた技術・製品・サービス等を持つ企業に対して、海外企業との連携による経営基盤・技術力の強化、海外市場への進出等、様々な海外事業展開の可能性について関係機関と協力してセミナーを開催した。

(ア) 海外セミナーの実施

[インド経済セミナー ～「MAKE IN INDIA」in ちば～]

実施日	会場	参加者数	内容
6月10日(水)	千葉商工会議所	73人	インド経済の最新情報を提供し、幅広い業種に対して海外事業展開を促進した。

※ 千葉市、千葉商工会議所、(公社)在日インド商工協会との共催事業

[海外知的財産活用講座]

実施日	会場	参加者数	内容
8月6日(木)	ビジネス支援センター会議室	13人	海外進出時における知的財産面のリスク及び経営上の留意点について講演し、海外事業展開を考える中小・ベンチャー企業に対して情報提供を行った。

※ (独)工業所有権情報・研修館との共催事業

[ベトナムビジネス展開セミナー]

実施日	会場	参加者数	内容
2月5日(金)	ビジネス支援センター会議室	25人	現地経済環境の現状や進出にあたっての留意点等を紹介するなど、今後の具体的な事業展開に対する情報提供を行った。

[環太平洋パートナーシップ(TPP)協定活用セミナー]

実施日	会場	参加者数	内容
3月4日(水)	千葉商工会議所	39人	TPPを活用した海外市場への進出を促進するため、そのメリット及び課題について情報提供した。

※ 千葉商工会議所、ジェトロ千葉貿易情報センター、千葉県貿易振興協会、千葉市貿易振興会、千葉市との共催事業

(4) 【公4】産業情報提供、人材育成、地域産業資源の発掘・調査及び資金融資に関する事業

ア 産業情報提供事業【指定管理事業】

財団の支援事業に関する情報をはじめ、各種産業情報をインターネット等により発信・提供するとともに、関連支援機関等と連携を図りながら情報提供を行った。また、ビジネス支援センター内の情報センターを活用して情報発信に努めた。

(ア) ホームページによる情報提供

新着情報の掲載数	元気企業の掲載数	セミナー等の情報掲載数	ホームページからのセミナー等申込件数
115 件	12 件	12 件	189 件

(イ) メールマガジンによる情報提供(月 1 回配信+臨時配信 1 回 計 13 回配信)

配信件数
16,518 件

(ウ) 情報センターでの情報発信

「ベンチャー・カップ CHIBA」受賞企業紹介、元気企業紹介、新事業支援機関紹介等

イ 人材育成事業

(ア) ビジネススクール事業【指定管理事業】

a ベーシック講座

既存中小企業の経営革新や市内での創業を促進するため、取り組みのポイントや留意点などを体験的に学び、人材の掘り起こしにつながる基礎講座を実施した。

(a) 経営革新基礎講座

[テーマ：経営革新に挑戦しよう！～事例から学ぶ経営革新～]

実施日	会場	参加者数
11月2日(月)	ビジネス支援センター会議室	7人

b パワーアップ研修

情報技術を活用した経営の合理化、販路拡大に向けた営業力の強化、創業に必要な知識の習得などを旨とし、経営革新や創業を支援するための実践的な研修を実施した。

(a) パソコン研修

[テーマ：～明日から使える～ 実務としての実践的データ分析講座]

実施日	会場	参加者数
3月24日(木)	ビジネス支援センター	6人
3月25日(金)	パソコン研修室	6人

(b) 創業者研修

[テーマ：起業の夢を実現させよう!]

実施日	会場	参加者数
6月27日(土)	ビジネス支援センター会議室	20人
7月4日(土)		19人
7月11日(土)		17人
7月28日(土)		16人

c ニーズ対応講習

重点施策への取り組みをはじめ、中小企業等の補助金獲得や業界等が抱える専門・個別課題に対し、能力開発などニーズに即応した企業等の人材育成を支援する講習を実施した。

(a) 研究開発講習

[テーマ：ストーリーテリングを活用した営業力強化セミナー]

実施日	会場	参加者数
5月19日(火)	ビジネス支援センター会議室	20人

[テーマ：売上を飛躍的に伸ばす新規開拓営業手法とは?]

実施日	会場	参加者数
9月24日(木)	ビジネス支援センター会議室	26人

[テーマ：商談を成功に導く営業プレゼンテーションとは]

実施日	会場	参加者数
11月4日(水)	ビジネス支援センター会議室	17人

[テーマ：決算書からわかる会社の収支 ～会計がわからなくてもキャッシュフローが見えてくる～]

実施日	会場	参加者数
2月3日(水)	ビジネス支援センター会議室	14人

(イ) 商業者育成講座事業【指定管理事業】

商店街リーダーや商業後継者の育成を図るため、商業関連のテーマで研修会・講演会を開催した。

a 研修会

[テーマ：これは使える！スマホで集客]

実施日	会場	参加者数
8月26日(水)	ビジネス支援センター会議室	23人
9月4日(金)		7人

b 講演会

[テーマ：増える訪日外国人をお客様にする「おもてなし」のツボ]

実施日	会場	参加者数
3月2日(火)	ビジネス支援センター会議室	21人

(ウ) 経営力強化講座事業【補助事業】

市内における起業、新事業の創出及び既存市内企業人材のキャリア教育を促進するため、経営戦略や組織マネジメント、マーケティングなどの経営能力の強化を図る研修事業を実施した。

(単位：人)

実施日	会場	参加者数
11月14日(土)	ビジネス支援センター会議室	8
11月21日(土)		7
11月28日(土)		9
12月5日(土)		8
12月12日(土)		8
12月19日(土)		8

ウ 地域産業資源の発掘・調査事業【補助事業】

優れたビジネスプランを持つ市内事業者を随時調査・発掘し、創業支援事業やアイデアコンペ事業など、新たな事業の創出支援活動に結びつけた。

また、これまでに財団の支援事業を活用した事業者に対しては、その後の事後調査及び効果測定に可能な限り努め、今後の継続支援に対する考え方並びに新たな支援施策の策定のための基礎資料とした。

エ 資金融資事業【受託事業】

千葉市が実施する資金融資事業のうち、受付・調査業務等を受託した。

受付件数	融資実績	
	実行件数	実行金額
3,137 件	2,955 件	53,296,360,000 円

(5) 【公5】生活安定に関する事業

ア 融資あっ旋事業【自主事業】

(ア) 生活安定資金融資あっ旋

生活安定資金(教育・出産・結婚・医療・葬祭・災害復旧・育児休業・車購入・物品購入・住宅関連資金等)の融資あっ旋を行った。

融資件数	申請件数
2件	8件

イ 老後生活安定事業【自主事業】

(ア) 中小企業退職金共済制度加入あっ旋

独立行政法人勤労者退職金共済機構が運営する、中小企業の従業員向けの退職金制度である「中小企業退職金共済制度(中退共制度)」について、会員勧誘時や広報誌等を通じて制度の説明を行い、加入あっ旋を行った。

加入件数
1件

(イ) 小規模企業共済制度加入あっ旋

独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営する、小規模企業の個人事業主や会社等の役員向けの退職金制度である「小規模企業共済」について、会員勧誘時や広報誌等を通じて制度の説明を行い、加入あっ旋を行った。

加入件数
1件

(ウ) 全福ネット入院あんしん保険加入あっ旋

一般社団法人全国中小企業勤労者福祉サービスセンターの会員を対象とした「入院あんしん保険(団体総合生活保険(医療補償基本特約))」について、会員勧誘時や広報誌等へ募集告知を行った。

(エ) ライフプランセミナー

ライフステージに応じた有意義な暮らしの実現を支援するため、セミナーを開催した。

[テーマ：これからの貯蓄と資産運用の大切さ]

実施日	会場	参加者数
10月15日(木)	ビジネス支援センター会議室	10人

(6) 【公6】健康維持増進に関する事業

ア スポーツ施設等の割引あつ旋・利用助成事業【自主事業】

(ア) 温浴施設等利用券あつ旋

会員のリフレッシュと健康増進を図るため、施設利用券の割引あつ旋販売を行った。

(単位：件)

あつ旋の種類	販売件数
湯けむり横丁みはま	205
アクア・ユーカーリ	17
市原温泉 湯楽の里	43
大江戸温泉物語 浦安万華郷	22
合 計	287

(イ) 家庭常備薬あつ旋

会員の健康維持を図るため、割引価格で家庭常備薬のあつ旋販売を行った。

実施日	販売件数
7月 1日(水)～24日(金)	356 件
1月 4日(月)～25日(月)	386 件
合 計	742 件

イ レクリエーション・健康事業【自主事業】

健康で豊かな生活を支援するため、会員間の親睦、健康づくりに役立つ健康増進事業を実施した。

事業名	実施日	会場等	参加者数
山登り教室 ※	10月24日(土)	パノラマ台(山梨県)	33 人
ボウリング大会	1月29日(金)	VEGAアサヒボウリングセンター	57 人
合 計			90 人

※ 公益財団法人船橋市中小企業勤労者福祉サービスセンターと共同開催

ウ 健康診断等の助成事業【自主事業】

(ア) 人間ドック利用助成

会員の健康管理のため、人間ドックの自己負担費用の一部助成を行った。

(単位：件)

種 類	利用資格	助成件数
1泊2日コース	会員(資格取得後1年以上)	8
	会員(資格取得後1年未満)	0
	計	8
日帰りコース	会員	708
合 計		716

(イ) 乳がん・子宮がん検診助成

会員の健康管理のため、乳がん・子宮がん検診の自己負担費用の一部助成を行った。

種 類	助成件数
乳がん検診	177件
子宮がん検診	109件
合 計	286件

(ウ) インフルエンザ予防接種助成

会員及び登録家族の健康管理のため、インフルエンザ予防接種の自己負担費用の一部助成を行った。

助成件数
1,047件

(7) 【公7】自己啓発・余暇活動に関する事業

ア 割引提携事業【自主事業】

(ア) 会員証提示割引事業

会員及び登録家族の自己啓発・余暇活動の充実を図るため、会員証の提示により割引価格で利用ができるように、各種施設と割引協定契約を締結した。

割引協定契約施設数
123 件

イ 施設利用助成事業【自主事業】

会員及び登録家族の自己啓発・余暇活動の充実を図るため、各種施設を利用した際の費用の一部助成を行った。

(単位：件)

助成の種類	助成件数
契約施設利用券 ※	12,705
東京ディズニーリゾート特別利用券	1,780
宿泊利用	4,702
レストラン利用	599
合 計	19,786

※ 契約施設利用券の内訳

(単位：件)

No.	施設名	件数
1	鴨川シーワールド	249
2	那須りんどう湖 LAKE VIEW	9
3	マザー牧場	304
4	那須ハイランドパーク	53
5	T・ジョイ蘇我	2,992
6	スパリゾートハワイアンズ	8
7	稲毛海浜公園プール	236
8	酒々井ちびっこ天国	22
9	尾瀬山荘	5
10	横浜・八景島シーパラダイス	118
11	DIC 川村記念美術館	26

12	千葉市美術館	36
13	京成ローザ ^⑩	2,021
14	千葉ポートタワー	58
15	千葉劇場	88
16	シネプレックス幕張	1,077
17	千葉市動物公園	369
18	千葉港観光船	26
19	シャトレーズスキーリゾート八ヶ岳	1
20	ハンターマウンテン塩原	5
21	富士急ハイランド	59
22	US シネマちはら台	1,646
23	千葉市科学館	108
24	会津高原たかつねスキー場	3
25	舞子スノーリゾート	9
26	横浜ランドマークタワー	14
27	ルミネ the よしもと	1
28	理容店	447
29	ドラゴンファーム	191
30	まーちゃん農場	308
31	小海リエックススキーバレー	3
32	果樹 萬果園	8
33	高根ぶどう園	23
34	ホキ美術館	40
35	みはる野いちご園	39
36	ミリアルリゾートホテルズ	4
37	うたゆの宿	2
38	ぐりんぱ	18
39	伊豆シャボテン公園	15

40	伊豆ぐらんぱる公園	14
41	ホテルニューオータニ幕張	74
42	千葉こどもの国	226
43	蓮沼ウォーターガーデン	154
44	さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト	4
45	ホテルオークラ東京ベイ	23
46	熱海シーサイドスパ&リゾート	4
47	湯沢中里スキー場	12
48	六日町スキーリゾート	5
49	清水公園	15
50	エプソンアクアパーク品川	74
51	イオンシネマ幕張新都心	585
52	湯の郷ほのか 蘇我店	832
53	よしもと幕張イオンモール劇場	14
54	ビューティ緑ヶ丘	4
55	KINGS・KINGS SEDONA	5
56	アトリエヴィサージュ	2
57	都賀光明堂治療院	7
58	西千葉鍼灸治療院	3
59	桑原鍼灸接骨院スポーツマッサージ療院	7
合 計		12,705

ウ 入場券等割引あっ旋事業【自主事業】

会員及び登録家族の自己啓発・余暇活動の充実を図るため、各種チケット等の割引あっ旋販売及びチケット郵送料の一部助成を行った。

(単位：件)

あっ旋の種類	販売等 件数
アフター5クラブマガジン掲載チケット	76
広報誌「ゆるり」掲載チケット	594
千葉ロッテマリーンズ年間指定席	546
ジェフユナイテッド千葉年間指定席	83
ジェフグルメカード	640
映画観賞パスポート等	308
図書カード	444
トイカード(こども商品券)	132
クリスマスケーキ	148
クオカード	374
ホームページ掲載チケット	20
チケット郵送料助成サービス	289
合計	3,654

エ 生涯学習等助成事業【自主事業】

会員及び登録家族の生涯学習及び余暇活動の充実を支援するため、NHK 学園及び各種教育機関の講座受講費用、推奨講座及びあっ旋ツアー参加費の一部助成を行った。

(単位：件)

助成の種類	助成件数
NHK 学園生涯学習通信講座	0
資格取得講座	10
推奨講座(スポーツ・カルチャー教室)	31
あっ旋ツアー	123
合計	164

オ 自主企画事業【自主事業】

会員及び事業所間の交流を深める機会の提供、独身会員に対し市域を超えた出会いと交流の場の提供並びに会員及び登録家族の余暇活動の充実・自己啓発活動を支援するため、イベント・教室を開催した。

(単位：人)

事業名	実施日	会場	参加者数
異業種交流会	11月27日(金)	オークラ千葉ホテル	117
独身者交流会 ※	9月13日(日)	ホテルポートプラザちば	43
カルチャー系教室 (ステンドグラス教室)	7月25日(土)	ビジネス支援センター会議室	21
合計			181

※ 公益財団法人船橋市中小企業勤労者福祉サービスセンターと共同開催

(8) 【公8】福祉情報提供・普及啓発に関する事業

ア 福祉情報提供事業【自主事業】

会員に対し、サービス等の内容を周知するため、広報誌等による情報提供を行うとともに、会員事業所の事務担当者に対し、サービスや手続き等に関するマニュアルを送付した。

なお、会員以外の一般の方にサービスセンターが提供するサービス等を知っていただくため、広報誌「ゆるり」及び「ゆるりぷらす」を各種公共施設で配布するとともに、ホームページに会員専用ページを設け、情報発信を行った。

情報提供の種類	発行回数	配布部数
ガイドブック	1回(4月)	6,200部
広報誌「ゆるり」	6回 (5・7・9・11・1・3月)	各25,000部
ゆるりぷらす	1回(12月)	20,000部
アフター5クラブマガジン	4回	会員1人1部
全福ネットガイドブック	1回(随時)	100部
ホームページ	随時	—
事務担当者マニュアル	1回(4月)	194部(事業所)

イ 普及啓発事業【自主事業】

サービスセンターが提供しているサービス等の普及啓発を図り、新規会員の加入促進及び退会防止を図った。

[平成27年度会員数・事業所数の入退会状況]

(単位：人・事業所)

新規入会		退会		増減		3月末現在	
会員数	事業所数	会員数	事業所数	会員数	事業所数	会員数	事業所数
942	60	562	27	380	33	5,307	689

(ア) 広報の実施

新規会員の獲得を図るため、会員募集広告を掲載するとともに、協力団体の主催する会合やイベントに出席し、サービスセンターの紹介及び提供しているサービス等についての説明や勧誘チラシを配布するなどの勧誘活動を行った。

区分	内容
広告	千葉日報「暑中あいさつ広告」「千葉の親子三代夏祭り広告」
	千葉市観光協会「千葉とっておき2016」
	千葉市商店街連合会「千葉市商業祭プログラム」「市商連だより」

(イ) 加入促進活動

公益社団法人千葉市食品衛生協会、公益社団法人千葉東青色申告会、公益社団法人千葉市民間保育園協議会等の協力を得て PR を行い、新規事業所の獲得に努めた。

また、新規開業者及び未勧誘事業所等の情報収集を行い、加入勧奨ダイレクトメールを送付するなど、新規事業所の加入促進活動を積極的に展開した。

(ウ) 未加入事業所紹介キャンペーンの実施

会員に新たな加入者を紹介していただく、1社1企業紹介運動を継続して行った結果、新たに10事業所を獲得した。

(エ) 退会防止対策

提供しているサービス等をより多く利用していただくことが会員の満足度向上、ひいては退会防止につながることから、会員事業所訪問時、改めてサービス等の内容の説明を行うなど、アフターフォローの徹底を図った。

また、併せて会員の意見・要望等の収集に努めた。

(オ) 会員アンケートの実施

会員の意見・要望を提供するサービス等に反映するため、イベント等の事業参加者へのアンケートの他、ホームページに会員専用ページを設け、会員に対しアンケートを行い、それらの結果を踏まえ、サービス等の改善を図った。

2 収益事業

(1) 【収1】産業振興施設の管理運営及び会議室の貸与等に関する事業

ア 千葉市ビジネス支援センター管理運営事業【指定管理事業】

市から管理の指定を受けた施設である千葉市ビジネス支援センターについて、利用者が常時安全で快適に利用できるよう管理運営を行うとともに、施設利用の促進に努めた。

[本館会議室等]

フロア	施設数	利用可能日	利用者数	合計
13階 「情報のフロア」	6室	月～土曜日・祝日 (年末年始は除く)	99,066人	175,420人
14階 「創業のフロア」	2室	月～金曜日 (年末年始は除く)	11,831人	
15階 「交流のフロア」	5室	年末年始を除く日	64,523人	

3 その他の事業(相互扶助等事業)

(1) 【他1】企業連合会等から受託する事業

ア 千葉市内陸企業連合会関係事務【受託事業】

同連合会が実施する研修会等の開催業務を受託した。

(2) 【他2】特許等取得支援に関する事業

ア 特許等取得支援事業【補助事業】

特許権の取得に際し、弁理士費用の一部を支援した。

支援件数
7件

(3) 【他3】共済給付に関する事業

ア 共済給付金支給事業【自主事業】

会員の福祉向上を目的とした各種の慶弔給付を行った。

(ア) 自治体提携慶弔共済保険

(単位：件)

給付の種類	給付内容	給付件数	
祝金	結婚祝金	93	
	出産祝金(会員または配偶者)	119	
	在会祝金	5年	185
	永年勤続祝金	10年	190
		20年	60
		30年	21
死亡保険金	病気・不慮の事故・交通事故	7	
弔慰金	配偶者	8	
	子	4	
	親(実・継・養・義)	112	
	火災等・自然災害による同居親族	0	
傷病休業保険金	休業14日以上	62	
後遺障害保険金	病気・不慮の事故・交通事故	0	
住宅災害保険金	火災等	0	
	自然災害	0	
合計		861	

(イ) 独自給付

(単位：件)

給付の種類	給付内容	給付件数
祝 金	結婚祝金 ※	1
	出産祝金(会員または配偶者) ※	1
	子の入学祝金(小・中学校)	325
記 念 品	還暦祝	59
	古希祝	22
合 計		408

※ 会員資格喪失後 3 か月以内に事由が発生

4 事業間接費

複数事業にまたがる活動経費について、合理的な基準で関係事業に配布した。

(1) 事業可能性評価委員会運営費【補助事業】

主要な支援事業を実施するにあたり、事業可能性評価委員会において支援対象企業等の審査・評価を行った。

開催回数	委員	主な議題
5回	外部有識者及びコーディネーター 9人	インキュベート施設入居審査、産学共同研究テーマの採択など